

東通原子力発電所 1・2号機新設に係る 環境監視調査結果（平成19年度）について

東京電力（株）東通原子力発電所の建設工事につきましては、「東通原子力発電所 1・2号機新設に係る環境影響評価書」に基づき、建設工事中の環境監視として平成19年度から「大気質」「騒音」「振動」「水質」「地形及び地質」「陸域に生息する植物」「海域に生育、生息する動植物」の調査を開始いたしました。

平成19年度調査の結果として「大気質」「振動」「水質」につきましては、環境基準値・管理目標値に適合しておりました。

「騒音」につきましては、その調査結果のうち、むつ市金曲、横浜町家ノ前川目において道路交通騒音が環境基準値を超えていましたが、工事着手前に実施した調査と同等の値でした。

これらの調査結果より、平成19年度の建設工事が周辺環境に与えた影響は小さいものと評価いたしました。

なお、「地形及び地質」「陸域に生育する植物」及び「海域に生育、生息する動植物」につきましては、環境監視の初年度である平成19年度の結果を開始時のデータとして、平成20年度以降の調査結果との変化傾向を監視することにより、工事の影響について評価いたします。

調査結果の詳細につきましては「東通原子力発電所 1・2号機新設に係る環境監視調査結果報告書（平成19年度）」として、東通原子力建設準備事務所及び東通原子力発電所PR施設「トントウビレッジ」にて閲覧して頂けます。